

健康・医療分野の国際展開について

2024年5月

内閣官房 健康・医療戦略室

日本政府は、健康長寿社会の実現に向け、医療分野の研究開発や新産業創出等に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、「アジア健康構想(AHWIN)」と「アフリカ健康構想(AfHWIN)」を推進しています。

アジア健康構想



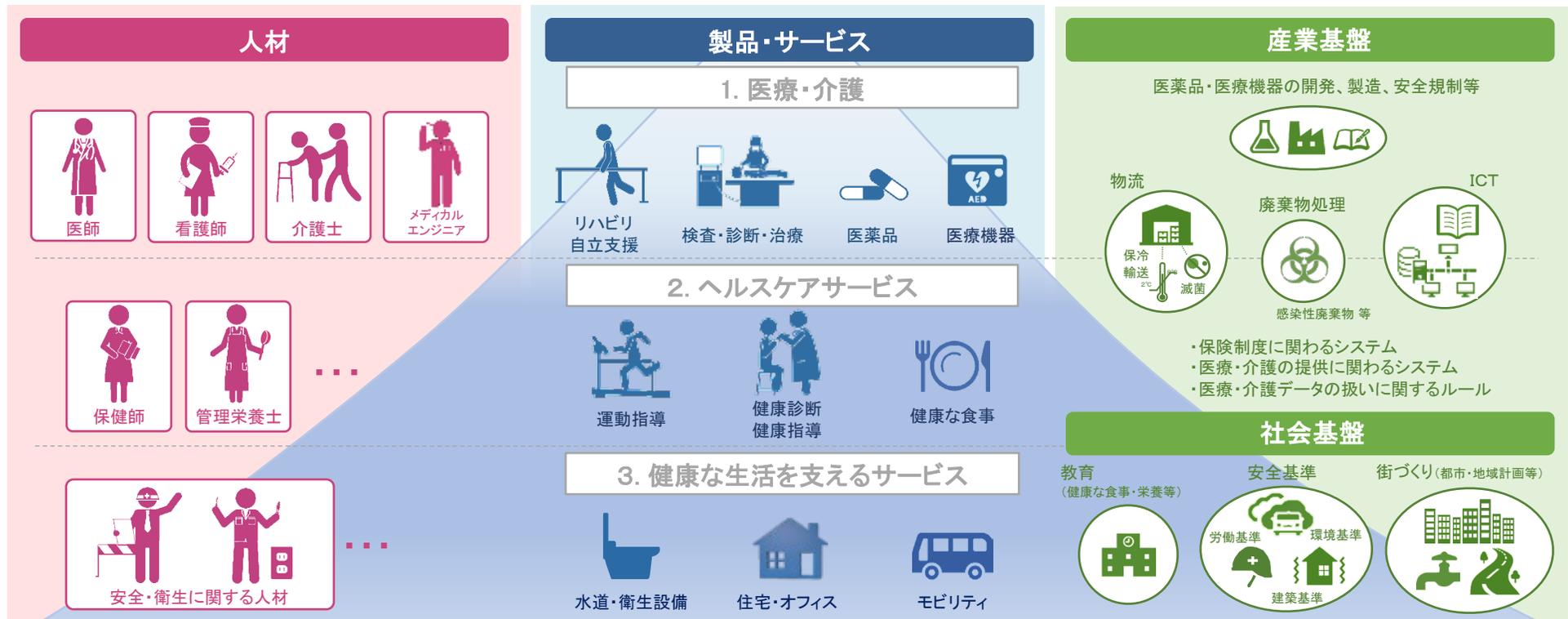
疾病の予防、健康な食事等のヘルスケアサービス、衛生的な街づくり等、裾野の広いヘルスケアの充実から、医療・介護の持続可能性の向上へ、好循環のサイクル創生への寄与します。

アフリカ健康構想



基礎的なインフラの整備や、公衆衛生への理解増進、栄養教育等、地域特性を踏まえ、公的セクターによる支援と自律的な民間の産業活動との多角的な開発システムの形成に貢献します。

バランスのとれたヘルスケアの実現イメージとして、日本を代表する“富士山”の形に見立て、裾野の広い保健医療サービスの充実に取り組みます。



二国間協力覚書（MOC）の作成

アジア6か国、アフリカ6か国の計12か国と、2国間での協力覚書（MOC）を署名。相互に協力を進めながら、健康長寿社会の実現と持続可能な成長を目指します。

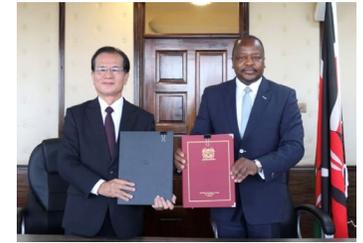
MOC締結国
(2022年12月現在)

アジア: インド、フィリピン、ベトナム、インドネシア、ラオス、タイ

アフリカ: ウガンダ、セネガル、タンザニア、ガーナ、ザンビア、ケニア



インドとの覚書署名式
(2018年9月)



ケニアとの覚書署名式
(2021年12月)

アジア健康構想

- ・基本方針策定(2016)
- ・改定(2018)



インド
2018年10月



フィリピン
2019年2月



ベトナム
2019年7月



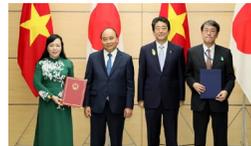
インドネシア
2020年10月



ラオス
2020年11月



タイ
2021年8月



アフリカ健康構想

- ・基本方針策定(2019)

2019年8月



ウガンダ



セネガル



タンザニア



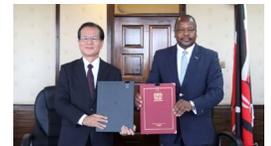
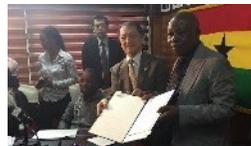
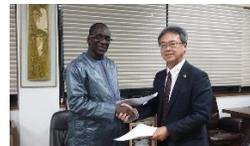
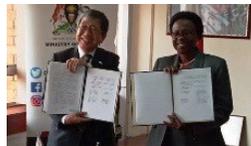
ガーナ



ザンビア



ケニア
2021年12月



ヘルスケア合同委員会

二国間協力覚書に基づく協力の内容を議論し、実行を監督するための政府間のハイレベル諮問機関として、合同委員会を設置。

最近の主な開催状況

第2回

日比ヘルスケア合同委員会

- 2023年3月17日
- 開催地: マニラ
- 議長: 伊藤直樹国際保健担当大使
マリア・ロサリオ・ベルヘレ
保健大臣代行
- 日本側参加機関; 健康医療戦略室、
外務省、経済産業省、厚生労働省、
JICA、JOIN
- 主な議題
 - ① ICTの活用促進
 - ② 官民の知見の共有
 - ③ UHCの実現
 - ④ 高齢者介護分野の人材育成等



日比ヘルスケア合同委員会に臨む
伊藤国際保健担当大使とベルヘレ保健大臣代行

第2回

日印ヘルスケア合同委員会

- 2023年5月15日
- 開催地: 東京
- 議長: 高市早苗健康・医療戦略担当大臣
マンスク・マンダビヤ
保健・家庭福祉大臣
- 日本側参加機関; 健康医療戦略室、
外務省、経済産業省、厚生労働省、JICA
- 主な議題
 - ① 救急医療、
 - ② 非感染性疾患、
 - ③ サプライチェーン等



日印ヘルスケア合同委員会に臨む高市大臣とマンダビヤ大臣

第1回

日越ヘルスケア合同委員会

- 2023年11月28日
- 開催: オンライン
- 議長: 伊藤直樹国際保健担当大使
ダン・クアン・タン
保健省国際協力局長
- 日本側参加機関; 健康医療戦略室、
外務省、経済産業省、厚生労働省、JICA
九州大学
- 主な議題
 - ① 非感染性疾患、
 - ② 高齢化等



日越ヘルスケア合同委員会に臨む
伊藤国際保健担当大使とダン保健省国際協力局長

相談対応・ネットワーキング・対外発信

【相談対応、情報提供】

- 日本企業支援窓口(外)
- 国際機関の調達枠組を活用した医薬品医療機器産業等の海外展開促進事業(厚)

【ネットワーキング、対外発信】

- アジア／アフリカ健康構想の実現に向けた調査・国際発信事業(内)
- 海外販路開拓事業(JETRO)

研究開発支援

- 開発途上国・新興国等における医療技術等実用化研究事業(厚・AMED)
- アジア地域における臨床研究・治験ネットワークの構築事業(厚・AMED)

【以下は主に研究者向け】

- 新興・再興感染症研究基盤創生事業(文・AMED)
- 医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業(文・AMED)
- 地球規模保健課題解決推進のための研究事業(厚・AMED)

海外実証・事業展開支援

- ヘルスケア産業国際展開推進事業(経)
- 技術協力活用型・新興国市場開拓事業(経)
- グローバルサウス未来志向型共創等事業(経)
- 中小企業・SDGsビジネス支援事業(JICA)
- ICT海外展開パッケージ支援事業(総)
- 栄養改善ビジネス国際展開支援事業(農)
- WHO事前認証及び推奨の取得並びに途上国向けWHO推奨医療機器要覧掲載推進事業(厚)
- 海外販路開拓事業(JETRO)

人材育成協力

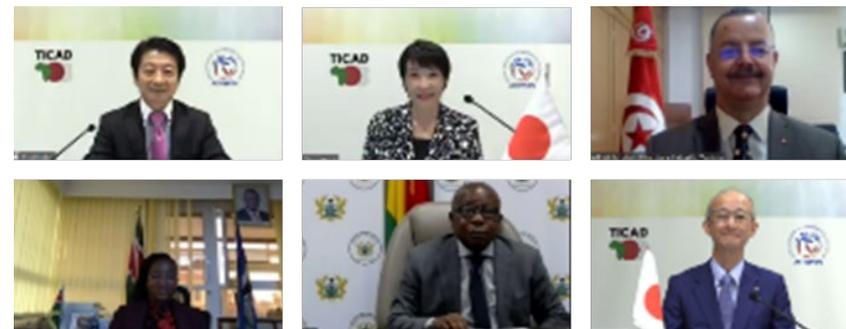
- 医療技術等国際展開推進事業(厚・NCGM)
- アジア医薬品・医療機器トレーニングセンター事業(厚・PMDA)

産官学連携したイベントの実施

アジア・アフリカ各国における保健課題やその解決に寄与する協力事業の可能性について議論するため、政府間のみならず、ヘルスケア産業界やアカデミアと連携したセミナーやシンポジウムを開催。イベントを通じた関係者のマッチング等を通じ、案件組成に寄与しています。

イベント実施の際は、現地の日本国大使館とも連携しています。

(右) TICAD8 サイドイベントの様子



Viet Nam - Japan Medical ICT and Aging Workshop

2023年10月31日にベトナムのハノイにて開催。

Medical ICTとAgingをテーマに、有識者が保健課題を討議した上で、日本企業8社が課題解決の提案をプレゼンし、実機によるデモを実施。当日はハノイ医科大学病院を中心に100名を超える医療関係者や企業関係者が来場し、質疑応答や意見交換も活発に行われました。



A Day to Experience Japanese Medical Devices

2023年10月17日にケニアのナイロビにて開催。

アフリカで今後増加が見込まれる、糖尿病等のNCDs(非感染性疾患)対策に資するサービスを提供する日本企業13社がデモンストレーションを実施したほか、有識者によるプレゼンテーション等を実施しました。

当日は200名近くのケニアの医療関係者が来場し、各社との意見交換も活発に行われていました。

